



帯広西ロータリークラブ 第2419回例会 2023.2.6 会報



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

帯広5ロータリークラブ・芽室ロータリークラブ・音更ロータリークラブ 合同例会

帯広RC 第3769回例会 帯広北RC 第3061回例会 帯広西RC 第2419回例会
 帯広東RC 第1782回例会 帯広南RC 第1374回例会 芽室RC 第2878回例会
 音更RC 第1375回例会

総合司会 帯広南RC 佐藤 SAA
 点鐘 帯広南RC 岩原 会長
 開会宣言 帯広南RC 佐藤 SAA
 国歌斉唱 帯広南RC 松田 整ソングリーダー
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 帯広南RC 松田 整ソングリーダー
 ゲスト紹介 帯広南RC 岩原 会長
 映画監督 ㈱和ら美 代表取締役 藤 嘉行 様

会長報告 帯広南RC 岩原 会長

皆様、こんにちは。開催クラブを代表しまして一言ご挨拶申し上げます。実に4年ぶりの合同例会でございます。3年ぶり2年ぶり、何度使った言葉でしょうか？しかし、こうして合同例会を開催できることを大変うれしく思います。でも、このいまましいウイルスは様々な変化をしながら、私どもに迫ってきます。不肖私も昨年の11月に感染してしまいました。症状は熱が少し出た程度だったのですが、咳が今でも発作のように起きることがございます。どうか皆様におかれましては、感染対策に充分注意されて気をつけていただきたいと思います。さて、私たち2022～2023年度の半分以上が経過し、各クラブの会長さん、幹事さんも残りを指折り数えていることと思います。しかし、次年度の会長さん、幹事さんにおかれましては、いよいよ忙しい時期に入ってきたのではないのでしょうか。それぞれのクラブの人事で



すとか、PETS、そして4月には地区協も迫っており、何かといろいろ準備にお忙しいと思います。そして、次年度は、クラブ協議会ですとかが前倒しになっていると聞いております。大変なことと存じますが、それぞれのクラブ運営、こうした合同例会などを引き継ぎ、繋げていっていただきたいと思います。また、今年度は10月に音更ロータリークラブさんにおいて30周年事業がございました。私も参加させていただきましたが、大変おごそか、かつ盛大で素晴らしい式典だったと思います。さすがは次年度ガバナー補佐を輩出するクラブだと思いました。また、同じく10月には、延期になっておりました西クラブさんの50周年の式典、懇親会がございました。大変若くてもの凄いパワーを感じる素晴らしい式典を見させていただくことができました。次々年度には小谷ガバナーが誕生でございます。第6分区を盛り上げるために皆様で協力し合い結束できればと思います。

最後になりましたが、本日のお客様でございます。現在、「株式会社わらび」という映画製作会社が鹿追町において「おしゃべりな写真館」という映画を製作でございますが、その映画監督でございます藤嘉行様です。そして今日の講演は、主演俳優でいらっしゃる中原丈雄様をお迎えし、一人芝居・ご講演をお願いしております。大変楽しみにしております。宜しく願いいたします。それでは、私の挨拶を終わります。どうもありがとうございました。



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸
 幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
 創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

会務報告

帯広南RC 松田 幹事

①帯広東RC、2月7日(火)の例会は、2月6日の繰上げ例会と致します。

帯広RC、2月8日(水)の例会は、2月6日の繰上げ例会と致します。

帯広西RC、2月9日(木)の例会は、2月6日の繰上げ例会と致します。

帯広北RC、2月10日(金)の例会は、2月6日の繰上げ例会と致します。

②RI第2500地区第6分區【IM】開催のご案内

日 時 3月18日(土)午後1時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帯広RC、3月15日(水)の繰下げ例会と致します。

帯広西RC、3月16日(木)の繰下げ例会と致します。

帯広南RC、3月20日(月)の繰上げ例会と致します。

帯広北RC、3月24日(金)の繰下げ例会と致します。



では実際のところ、帯広という場所が、北海道のどこにあるのかも知りませんでした。函館、札幌、旭川とかは撮影でも何回も行ってたのですが、こちらに來まして、ちょっと景色が全然違うと。僕の知ってる北海道とはまた全然違ってました。2月でしたけど、素晴らしい景色。そこで映画を撮りたいと4年前に思いました。それから色々準備を重ね、半分は東京で過ごし、半分はこちらに家を借りて過ごして準備をしてきた映画が、去年の7月に撮影に入りました。7月に夏の分を撮って、秋に秋の分を撮って、今度、9日から20日まで雪景色の撮影でクランクアップします。実際、一年を通してこの素晴らしい景色で映画を撮るということは、なかなか大変なことがですが、写真にありますような写真館を草原の中に建てました。今まさに、あと10日後にクランクアップするところです。協賛のお願いのチラシを置かしていただきました。十勝という場所を世界に発信するようないい映画になると思っていますので、皆様のご支援をいただければと思います。宜しくお願いいたします。

ゲスト挨拶

映画監督 (株)和ら美 代表取締役 藤 嘉行 様

今、ご紹介に預かりました映画監督の藤と申します。私が4年前に、前の映画の上映会が鹿追町でありまして、それま



プログラム

【講師経歴紹介】

帯広南RC 松田 幹事

中原さんの簡単な経歴を説明させていただきたいと思います。1951年、熊本のお生まれでございます。お酒が好きということで、現在、球磨焼酎大使をなさっております。古いところでは「踊る大捜査線 the movie」、最近ですと「るろうに剣心」と人気映画にも出演されております。水戸黄門シリーズも長いことやられておりました。また、CMで山崎製パンのゴールドシリーズの宣伝にも出ておられます。あとは、我々の誇りであります「なつぞら」にもご出演されておりました。北乃きいさんのお父さん役で、草刈正雄さんとも絡まれておられました。直近では「ちむどんどん」をご覧になった方もいらっしゃると思います。その中原文雄さんが、この度の「おしゃべりな写真館」の主演ということで講演をお願いしたところ快くお引き受け頂き、今日は一人芝居と講演をしていただけることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

演題：チェーホフの戯曲「一人芝居 煙草の害について」

俳優 中原 文雄 様



今日は、ロータリークラブにお招きいただきましてどうもありがとうございます。只今やりましたのは、百数十年前にロシアで書かれた「タバコの害について」というお話でした。いろいろな俳優さんがやっております。柄本明氏もやっておりますし、あちこちでやられてる芝居です。これをやろうとした理由ですが、僕は熊本生まれで、熊本に八千代座というとても素晴らしい歌舞伎の小屋がございます。そして私は、ライブを毎年あちこちでやっております、それを是非、八千代座でもやりたいということで、せっかく歌舞伎の小屋でやるんだしたら「お芝居やりませんか?」と言われました。でも、舞台から離れてずいぶん長いこと経つものですから、お芝居というのはちょっとできないかもしれないけども一人

でなんかやるんだったらいいかなと思いました。それで、以前見たこの「タバコの害について」という話を自分なりに書き換えました。今の時代の言葉にふさわしいような言葉で描き直しました。それがこの芝居、「タバコの害について」というのをやるようになったきっかけです。僕が俳優になったきっかけは、小学校の頃でした。僕らの時代はテレビがありません。映画しか楽しみがないですから、映画館に行くといつも必ず映画の作品の中で食事をするシーンが出てくるんです。毎日のように腹空かせているものですから、こういう仕事に就けばおいしいものが食べられるんだなと思いつつ、子供の頃に憧れたのが一番の理由でございます。後になって、もう辞めることも下がることも職業を変えることもできなくなったような年齢になって、俳優が一番食えな

い職業だっていうのを分かった次第でございます。しょうがありませんから、これでやるしかないというふうにして現在に至っております。北海道は何度か着ておりますが、今、私たちが藤監督と撮っております「おしゃべりな写真館」という映画の舞台になっております鹿追町は2度目でございます。帯広は今回初めて来ました。あまりの大きい街でびっくりしております。鹿追町は藤監督と撮りました「明日へ」という映画、これは戦争を描いた作品なんですけれども、その上映をやるのに鹿追町へうかがって、それから「もう一回ここで映画を撮りましょうか?」という話になり、今の「おしゃべりな写真館」を撮るために鹿追町に5年ぶりに戻ってきたわけです。僕の故郷の熊本とは、北海道という大地の在り方が違うものですからね。来ると、もう本当に素晴らしいなあ、いいなあと思っている毎日でございます。ロータリークラブ様からお招きをいただきまして今日こうやって登壇しているわけでございますが、何かご質問があればお答えいたします。

(帯広西ロータリークラブ 植本会員)

Q・本日は大変貴重な機会をありがとうございます。中原様が俳優になられたきっかけは、先ほどお伺いしましたが、その俳優になられて得た物、そして、それを身につけるためにはどうしたらいいのか?という点を教えていただければと思います

A・そうですね。得た物というよりも、失った物の方がずっと多いような気がするんです。あまり俳優をやっていて得ることはありません。確かにいろんな役を僕らがやらなきゃいけないということでいろんな人物になるということ、役的なことで自分が変わらなきゃいけないということがあるんです。本当の自分は今ここにいて、こうやって受け答えをさせていただいている今のこれが僕なんですけども。実はでも、これが自分なのかよく分からないような時があるんです。役をやってると当然役の中に入り込んで。家に帰って、一杯飲んでびっくり返った頃が自分のただの唯一の時間なんですけれども。大勢の人に会う、そして一生働かないと生きていけないという、そういう覚悟は俳優になった時からあるものですからね。今日はダメだけど、明日は負けないぞ!昨日は負けたけど、今日は負けんぞ!という。もうそればかりなんです。もういい歳になっても人一倍、嫉妬は激しいし、妬みや恨みや、そんなことばかりで。だから、どんどんどんどん追い越されたり、いい役を取られたり、持っていかれたいするとやっぱり悔しいですよ。絶対に、もうその悔しさを次の自分のステップにするというように、毎日いるんです。絶対に何があっても動じないというようなものが、自分の中にあるといいな、と思います。どんな風になっても生きていられ

るんだ!という、そういう覚悟みたいなものは常にあります。もちろん、覚悟はあってもお金がない。でもお金がなくなると家族を養ってききましたし、まあ今はなんとか飯を食べておりますけれども。自分を偽らないで人に見せたい。それでもってオファーが来ればいいな、というふうなことを思っておりますので、なるべく人の前では普通にしよう。それが、ひとりひとりのその人の魅力になるような気がします。今のご質問の答えになってるかどうかわかりませんが、決して自分を、大きく見せるとか、そういうことは一切僕の中にはありません。普段のままの家族といる時のままの一番バカな姿の自分が自分じゃないかな、というふうな思っています。それが一番人に伝わりやすいような気がします。やっぱり人に好かれたいと僕らは仕事来ないし、やっぱり人に好かれるっていうこと、そこに誇張があってもいけないし。なるべく地の自分を見ていただいて、人に好かれるってことが、その人の魅力になってるような気がします。そういったことでよろしければ、答えとさせていただきます。ありがとうございます。

(音更町ロータリークラブ 田中会員)

Q・今回の「おしゃべりな写真館」に出演されている山木雪羽さんに凄く興味があります。どのような少女なのでしょう?

A・まだ中学生なんです。初めての映画の出演ですが素晴らしい演技です。人の目に触れて惹きつけるようなものを持っていますから絶対に大きくなっていくような女優さんだと思います。演じてできるっていうものじゃないんです。僕なんかは、とてもそういうことができなかったです。物怖じしない、そして、とても自然です。天性のものが彼女にはありますね。とても素敵な女の子です。これからどういう風に彼女が大きくなっていくかとても楽しみです。

(帯広西ロータリークラブ 朴会員)

Q・中原様、今日は素晴らしいお芝居を見せて頂きまして、本当にありがとうございます。非常に十勝に縁のある中原様から見て、この十勝の魅力というのはどういう風に写っていらっしゃるのかをお聞かせいただければと思います。

A・やはり、まず、この大地の大きさ。これは本州、九州、四国、どこへ行ってもありません。もう見渡す限り何もない平野の中に道がずっと続いているという、その偉大さ。こんな偉大な土地が日本の中にあるんだということの嬉しさ。ここは日本なんだ、俺達の国なんだっていうことの喜びは本当にあります。そして雲の出方、空気にしても、すべてが僕らの住ん

でる街と全然違うということの素晴らしさを感じますね。今も言いましたけども、私たちの国なんだという、その喜びがこの北海道にありますね。それぐらいに雄大な自然に惹かれました。そして道民の方の人懐こさというもの、外から来た人間を温かく迎えてくださっているというのを感じるのも北海道のまた一つの魅力になっているんじゃないかなと思います。こちらに住んで東京に通えるんだったら、僕はこちらの方に引っ越して来たいぐらいの気持ちがあるんですよ。そのぐらいにとても魅力的な人を惹きつけるものを町の人や村の人や、そしてこの大地に感じますね。海外から人が来るというのが本当によくわかります。とても素敵な魅力を感じます。

(帯広北ロータリークラブ 荒木会員)

Q・先ほどは、大変素晴らしい演技を本当にありがとうございました。テレビやドラマとかは多分、全然違うと思うのですけれども、この「ひとりの芝居」というものの魅力というか、素晴らしさはどこにあるのでしょうか？テレビやドラマと違う点を教えていただけたらと思います。

A・僕は20代の全部、30代の途中まで舞台上で芝居やっておりました。その芝居を覚えてから初めてテレビの世界行った時に、全く芝居が違うというぐらいに舞台の演劇と映画やテレビのお芝居のやり方が違うんです。どのぐらい違うかと言いますと、全く舞台だけやってる人が、「じゃあテレビの前に立ってください」と言われた時のお芝居がやっぱりオーバーになります。舞台上でやること、僕もさっきやりましたけども、あれはこういうステージだから、舞台だから皆さんに通用するんです。あれをテレビでやると、もう臭くて。お前何をやってるんだ！というぐらい違うんです。テレビや映画の方がそういう意味では、もっとリアルで自然です。セリフにしてもそうです。逆にテレビや映画だけしかやってない人が舞台上に立つと大変なんです。発散しないでやるから人に伝わらないんです。だからここで演じているんですけども、ここから先には全然、行かないんです。芝居が自分の周りだけ。そのような違いがある気がします。また、映画とテレビも違います。とにかく時間がかかるのは映画です。天候を待ったり、自分の出番を待ったり。そして、その度にライティングを変えたりもします。色々なことがある中で、僕らはひたすら出番を待ちます。出番を待っている間に台詞忘れてたり、台詞がどうしても覚えられなかったりします。これは舞台も同じなんですけれども、与えられた自分のセリフを覚えるということが、まず一番なんです。覚えた台詞をどのようにしてしゃべるかという難しさもあります。だから舞台の場合には「わーっ」と言う、テレビの場合には「ぼそっ

と言う、この違いも含めてその役がどういう風な喋り方をするかというのを自分で作って人に見せるというのが、俳優の仕事の一つです。この見せ方がちゃんとした人に沢山の仕事が来るとのことじゃないですかね。テレビと映画、そして舞台の違いはありますし、ラジオもそうです。それぞれのプロフェッショナルがいます。声優さんもそうだと思います。アニメーションや外国映画の吹き替えをやる人たちが、映像に出た時にはまた違うんです。不思議なもんですね。同じ俳優なんですけれども、それぞれの世界があって、それぞれ違うのが私たちの俳優の仕事の世界です。

(最後に)

「おしゃべりな写真館」が今年の秋には皆様の目に入ると思いますので、ぜひご覧になって下さい。映画というのは、人の目に触れないと存在してないのと同じになります。大勢の人に見ていただいて、そして話題になって。話題になるというのは、私たちが今、撮ってる映画を大きくしていくという一つの力になります。ぜひ出来上がりましたら宜しくお願いいたします。ありがとうございました。



謝 辞
講師退場
閉会宣言
点 鐘

帯 広RC 竹川 会長
先 導 帯広南RC 佐々木 副会長
帯広南RC 佐藤 SAA
帯広南RC 岩原 会長